

フィジカルAIの実現に向けた動向と取り組み

近年、各場面でフィジカルAIが取り上げられ注目されております。今回、知的ロボティクスを専門に研究されております、中部大学の山下隆義氏を招聘致しました。生成AIが言語・画像の世界で革新をもたらしたのに対し、フィジカルAIは知能を現実世界へ拡張し、ロボットや自動運転車を自律的に動かす次の技術潮流です。本講演では、フィジカルAIを支える基盤技術の構造を整理したうえで、製造・物流・モビリティ・ヘルスケアなど多領域のグローバル最新事例を紹介して頂きます。



講師

山下 隆義 氏

中部大学 教授

2002年 奈良先端科学技術大学院大学博士前期課程修了、2002年 オムロン株式会社入社。2011年 中部大学大学院博士後期課程修了(社会人ドクター)。2014年 中部大学講師。2017年 同大学准教授。2021年同大学教授。日本ディープラーニング協会理事。

人の理解に向けた動画像処理、AIモデルの判断根拠の可視化、AIモデルのコンパクト化など研究に従事、電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ論文賞(2013年)、電子情報通信学会PRMU研究会研究奨励賞(2013年)、画像の認識・理解シンポジウム(MIRU)長尾賞(2019年、2020年)、電子情報通信学会論文賞(2020年)、画像センシングシンポジウム優秀学術賞(2025年)など受賞。

日時

2026/7/2

木

15:30~17:00

(Zoom入室 15:20~)

場所

Zoomによる
オンラインでの講演を予定。



費用

本講演に係る費用はございません。

受付

お申込み・お問い合わせ先：一般社団法人JTS社団 岡野、城戸、中村

E-mail: okano@jts-shadan.or.jp, kido@jts-shadan.or.jp, fumi@jts-shadan.or.jp,

Tel : 03-6451-4388 <http://www.jts-shadan.or.jp>

※ お申込み・お問い合わせの際は、本講演をご案内のJTS社員名をお知らせください。